

# 教育長賞

堺市立 金岡南小学校 六年

糸 長 佑 梨

## 支えてくれる人たち

今、犯罪や非行が毎日のように起っている。

非行や犯罪がない社会にするには、どうすればいいのか考えてみた。私の家の近所の中学生が電子タバコを吸っているのを見たことがある。未成年がタバコを吸うことは犯罪だ。なぜタバコを吸っているのか気になった。そこで自分なりにタバコを吸つていた理由を考えてみた。「タバコを吸うことがかつこいいとおもつているのかもしれない」「タバコを吸うことが悪いことだと思つていいのかもしれない」タバコを吸うと健康に悪く、全身のがんのリスクを高める。そんなことになるかもしれないのにタバコを吸つている。調べてみると、タバコ以外にも未成年や中学生はお酒、今では薬物をしている中学生もいるという。

お酒を飲むと、タバコと同様健康を害する。薬物はもっと危険だ。

「一度だけ…」とそんな好奇心であなたの人生を壊すことがあるかもしれない。一度だけでもそれは犯罪だ。薬物をしてしまう

と、心身の発達が損なわれてしまう。薬物依存になると、不安・被害妄想など症状があらわれて、殺人や放火などの重大犯罪を起

こしてしまう。

また、薬物を手に入れるために無理な借金や窃盗、詐欺、などの犯罪を平気で起こしてしまようになる。薬物をしている人は、自分がしていることの重大さ、そして薬物をするとどれだけ危険なのかをしつつおく必要がある。危険なのになぜ非行をするのかになり理由を調べてみた。

「周りから褒められるような優等生になれない」という自己肯定感の低さ「家庭環境」からくることがあるらしい。

私は幼稚園のとき、一緒の組だった女の子のいいように使われていた。その時何度も言い返せなくて、気づけば大好きだった幼稚園に行きたくなくなつた。朝、幼稚園に行く時間になつたら大泣きして、

「いやだ…」と思うようになつていた。

でも、優しい先生たちやずっと支えてくれていたお母さんがいたからこそ、自己肯定感が低い今まで、心を病んだり、不登校にならなかつたと思う。私は家庭環境や周りの環境に恵まれていた

から非行や犯罪をしなかつたんだと思う。非行や犯罪をしている人は止めてくれる人や、支えてくれる人、自分のことを肯定してくれている人がいなかつたんじやないかと思つた。私は、今では自己肯定感が高くなり、自分に自信を持てるように生きるようにしている。だから非行などをする人に支えてくれる人がいればもっと違う道があるかもしれない。

私は、社会や大人たちに支えてくれる人を増やす取り組みをしてほしいと思う。私は、社会はみんなで支えあって生きているんだと気づいた。だから自分でも、大人に頼らず、身の回りの人々に困つていたり、助けを求めている人がいれば私を支えてくれた人たちのように少しでもいいから助けたいと思う。

みんなで支えあって、寄り添いあって、認め合って、助け合う。そんな社会になれば非行や犯罪をする人が少しでも少なくなつたらいいと思う。私の将来の夢は教師だ。

支えてくれた先生にあこがれてなりたいと思つた。悩んでいる子、困っている子、助けを求めている子に気づいて助けられるよう、そんな教師になりたいと思う。

